

# スーパーマーケット販売統計調査 (11月実績速報版・10月実績確報版)

## ●速報版について

毎月「同一企業310社」を対象として集計しています。

パネル集計であるため「販売金額(円)」の時系列推移も参照できます。

## ●確報版について

調査に回答のあった「すべての企業」を対象として集計しています。

集計企業が毎月異なるため「販売金額(円)」の時系列推移は参照できませんが

集計数が速報版に比べて多いため、「前年同月比(%)」については

スーパーマーケット業界全体の動向に近い値になっています。

## 【集計項目】

- 商品分類別売上高:全店売上高(万円)・構成比(%)・全店・既存店前年同月比(%)
- エリア別集計:全店売上高(万円)・全店・既存店前年同月比(%)
- 保有店舗別集計:全店売上高(万円)・全店・既存店前年同月比(%)
- 集計企業数、総店舗数、総売場面積
- 既存店総売上高(万円)、店舗平均月商、売場1㎡あたり売上高

## スーパーマーケット販売統計調査における商品分類

総売上高	食品合計	生鮮3部門	青果	野菜類、果実類、花	
			水産	魚介類、塩干物	
			畜産	食肉類、肉加工品	
		惣菜	惣菜、折詰料理、揚物、弁当、おにぎり、寿司、インスタペーパー、ファーストフード		
		日配	豆腐、こんにゃく、納豆、練製品、佃煮、漬物、パン、卵、乳製品、生菓子、冷凍食品、アイスクリーム		
		一般食品	調味料、瓶詰詰、乾物、米、小麦粉、乾麺、嗜好品、菓子、酒類		
	非食品	日用雑貨品、医薬・化粧品、家具インテリア、家電製品、婦人衣料、紳士衣料、文具、玩具			
その他	テナント売上高、タバコ・ギフト販売、その他取次業(DPE、クリーニング、宅配便、レンタル、チケット販売等)				

## スーパーマーケット販売統計調査におけるエリア分類

北海道・東北エリア	北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
首都圏エリア	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨
東海エリア	岐阜、静岡、愛知、三重
北信越エリア	福井、石川、富山、長野、新潟
関西エリア	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国・四国エリア	鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
九州・沖縄エリア	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

2012年12月21日

日本スーパーマーケット協会  
 オール日本スーパーマーケット協会  
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査に関するお問い合わせ

[tokei@super.or.jp](mailto:tokei@super.or.jp)

2012年12月21日

日本スーパーマーケット協会  
 オール日本スーパーマーケット協会  
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

### スーパーマーケット販売統計調査（11月実績速報版）

	全店売上高（万円）	構成比	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
総売上高	<b>76,812,332</b>	100.0%	<b>101.0%</b>	<b>98.5%</b>
食品合計	65,913,523	85.8%	<b>101.0%</b>	<b>98.3%</b>
生鮮3部門合計	24,202,680	31.5%	<b>100.9%</b>	<b>98.3%</b>
青果	9,213,375	12.0%	<b>101.3%</b>	<b>98.6%</b>
水産	6,838,763	8.9%	<b>99.7%</b>	<b>97.0%</b>
畜産	8,150,543	10.6%	<b>101.7%</b>	<b>99.0%</b>
惣菜	6,700,421	8.7%	<b>101.7%</b>	<b>98.6%</b>
日配	14,177,709	18.5%	<b>100.8%</b>	<b>98.2%</b>
一般食品	20,832,714	27.1%	<b>101.0%</b>	<b>98.4%</b>
非食品	7,619,336	9.9%	<b>103.6%</b>	<b>101.4%</b>
その他	3,279,473	4.3%	<b>100.8%</b>	<b>98.5%</b>

#### エリア別集計

エリア	全店売上高（万円）	集計対象企業数	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
北海道・東北エリア	12,863,914	52	<b>102.5%</b>	<b>99.2%</b>
首都圏エリア	27,798,840	90	<b>100.6%</b>	<b>98.6%</b>
北信越エリア	5,233,008	32	<b>100.3%</b>	<b>98.1%</b>
東海エリア	4,507,925	35	<b>98.0%</b>	<b>96.8%</b>
関西エリア	16,535,396	35	<b>101.6%</b>	<b>98.5%</b>
中国・四国エリア	5,011,821	40	<b>101.7%</b>	<b>97.9%</b>
九州・沖縄エリア	4,861,430	26	<b>99.8%</b>	<b>98.6%</b>

#### 保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高（万円）	集計対象企業数	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
1～3店舗	747,744	56	<b>94.0%</b>	<b>95.9%</b>
4～10店舗	4,232,477	92	<b>97.6%</b>	<b>96.9%</b>
11～25店舗	11,111,408	77	<b>99.2%</b>	<b>96.9%</b>
26～50店舗	16,230,491	48	<b>101.1%</b>	<b>99.1%</b>
51店舗以上	44,490,213	37	<b>101.9%</b>	<b>98.9%</b>
集計企業数（社）	310	既存店総売上高（万円）	74,176,736	
総店舗数（店舗）	7,342	店舗平均月商（万円）	10,462	
総売場面積（㎡）	11,776,180	売場1㎡あたり売上高（万円）	6.5	

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

※前年同月比（全店）：前年同月営業の全店舗と当月営業の全店舗における比較による

※前年同月比（既存店）：前年同月と当月共に営業の店舗における比較による

2012年12月21日

日本スーパーマーケット協会  
 オール日本スーパーマーケット協会  
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

### スーパーマーケット販売統計調査（10月実績確報版）

	全店売上高（万円）	構成比	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
総売上高	80,769,014	100.0%	99.5%	97.2%
食品合計	70,363,703	87.1%	99.6%	97.2%
生鮮3部門合計	25,889,514	32.1%	98.7%	96.3%
青果	10,486,011	13.0%	98.0%	95.6%
水産	7,071,207	8.8%	98.0%	95.8%
畜産	8,332,296	10.3%	100.1%	97.6%
惣菜	7,109,696	8.8%	100.4%	97.8%
日配	15,292,287	18.9%	100.1%	97.6%
一般食品	22,072,206	27.3%	100.1%	97.9%
非食品	6,884,442	8.5%	99.7%	97.1%
その他	3,520,869	4.4%	100.9%	98.0%

#### エリア別集計

エリア	全店売上高（万円）	集計対象企業数	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
北海道・東北エリア	13,232,315	53	101.4%	98.9%
首都圏エリア	29,723,976	97	98.3%	96.9%
北信越エリア	5,448,383	34	98.3%	96.2%
東海エリア	4,726,557	37	96.4%	95.6%
関西エリア	16,674,995	37	100.9%	97.0%
中国・四国エリア	5,270,354	42	100.1%	96.6%
九州・沖縄エリア	5,692,433	31	99.5%	97.9%

#### 保有店舗数別集計

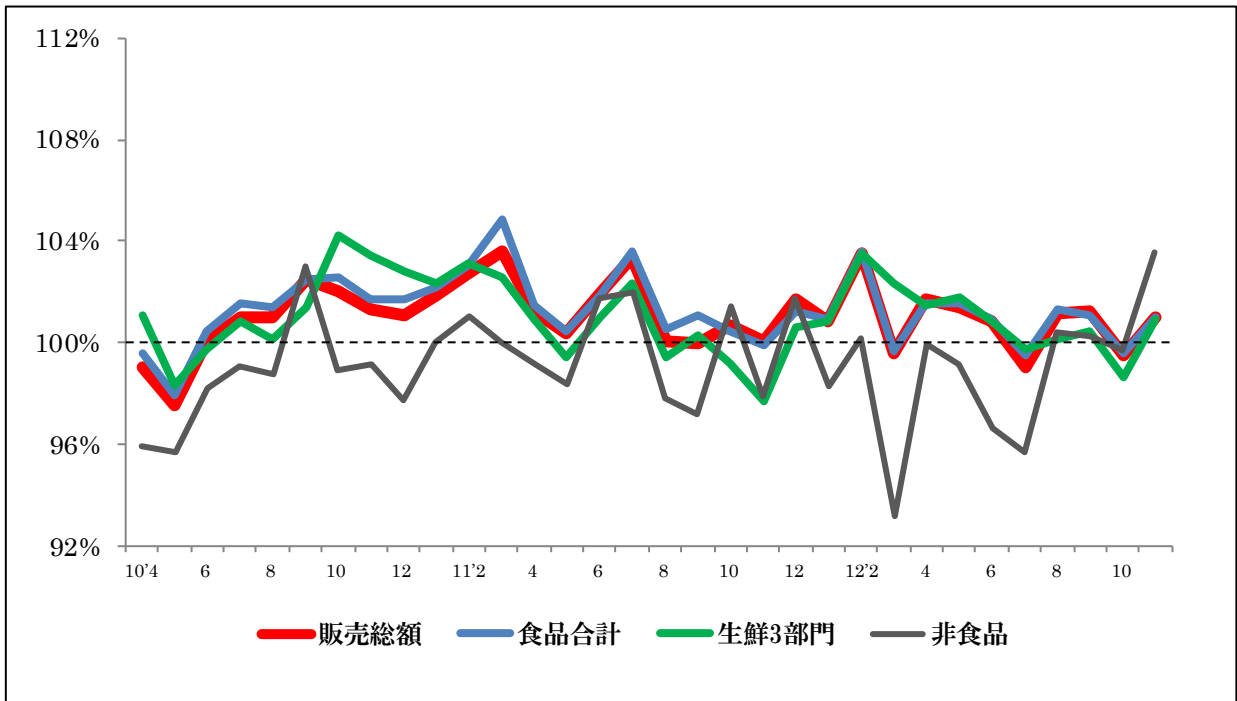
保有店舗数	全店売上高（万円）	集計対象企業数	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
1～3店舗	935,140	64	92.7%	95.0%
4～10店舗	4,802,258	98	98.0%	97.2%
11～25店舗	12,078,318	81	97.4%	95.6%
26～50店舗	16,832,268	48	99.3%	98.0%
51店舗以上	46,057,831	39	100.5%	97.4%
集計企業数（社）	331	既存店総売上高（万円）	77,904,174	
総店舗数（店舗）	7,644	店舗平均月商（万円）	10,566	
総売場面積（㎡）	12,016,798	売場1㎡あたり売上高（万円）	6.7	

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

※前年同月比（全店）：前年同月営業の全店舗と当月営業の全店舗における比較による

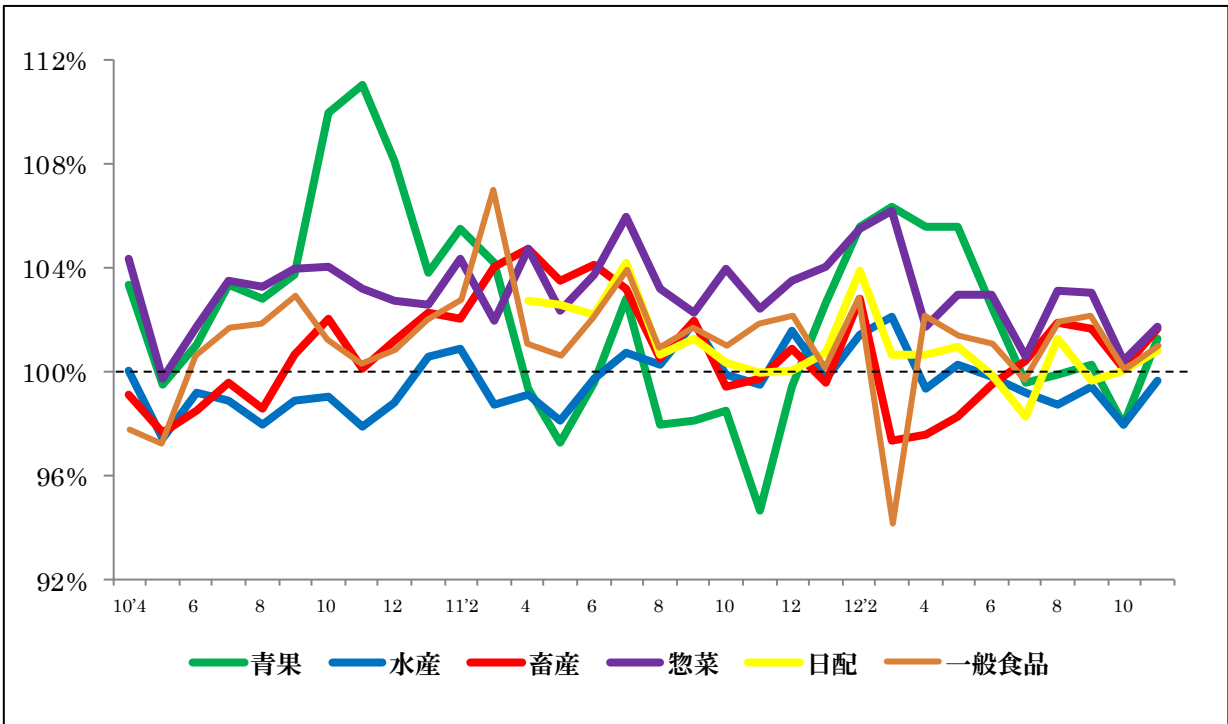
※前年同月比（既存店）：前年同月と当月共に営業の店舗における比較による

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2012年11月(全店ベース対前年同月比)  
販売総額・食品合計・生鮮3部門・非食品



※2010年4月～2012年10月までは確報版による前年同月比、2012年11月は速報版による前年同月比  
※2011年3月までは、「非食品」に「その他」を含む

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2012年11月(全店ベース対前年同月比)  
青果・水産・畜産・惣菜・日配・一般食品



※2010年4月～2012年10月までは確報版による前年同月比、2012年11月は速報版による前年同月比  
※2011年3月までは、「一般食品」に「日配」を含む

## エリア別気候状況(平均気温・日照時間・降水量)

### ①平均気温

**11月(平年との比較)** 九州でやや低くなったほかは、ほぼ平年並みの気温となった

**前年同月と比較して** 前年が全国的に平年より高かった影響で、上旬と中旬で関東以西で前年に比べ大幅に低い気温となった

	平年との気温差℃								
	2012年11月			2011年11月			前年との差(℃)		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北海道地方	1.8	1.3	-1.1	1.3	1.8	-0.1	0.5	-0.5	-1.0
東北地方	0.8	0.5	-1	1.7	1.3	0.4	-0.9	-0.8	-1.4
関東甲信地方	-0.5	-0.4	-0.8	2	2.2	0.7	-2.5	-2.6	-1.5
北陸地方	-0.8	-0.6	-1	2.5	1.9	0.4	-3.3	-2.5	-1.4
東海地方	-0.6	-0.9	-0.6	2.4	2.4	0	-3.0	-3.3	-0.6
近畿地方	-1	-0.9	-0.8	2.8	2.4	0.2	-3.8	-3.3	-1
中国地方	-0.8	-0.5	-0.3	3.5	2.7	0.6	-4.3	-3.2	-0.9
四国地方	-0.9	-1.2	-0.9	3.1	2.3	0.3	-4	-3.5	-1.2
九州北部	-1.5	-1.1	-1.1	3.8	2.3	0.9	-5.3	-3.4	-2
九州南部・奄美地方	-1.6	-1.1	-1.1	3.1	2.2	0.7	-4.7	-3.3	-1.8

平年差℃

平年差-2℃以上

平年差-1℃以上

平年差+1℃以上

平年差+2℃以上

前年差℃

-2℃以上

-1℃以上

+1℃以上

+2℃以上

### ②日照時間

**11月(平年との比較)** 上旬に北陸で少なかつたほかは、ほぼ平年並みの日照時間となった

**前年同月と比較して** 上旬北海道・日本海側でやや少なく、他でやや多かつたが、それ以降はほぼ前年並みの日照時間となった

	日照時間 平年比(%)								
	2012年11月			2011年11月			前年との差(%)		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北海道地方	59	84	87	134	123	89	-75	-39	-2
東北地方	68	74	84	115	111	76	-47	-37	8
関東甲信地方	128	112	84	84	95	110	44	17	-26
北陸地方	45	75	93	102	92	96	-57	-17	-3
東海地方	111	111	84	72	100	100	39	11	-16
近畿地方	97	99	75	71	93	106	26	6	-31
中国地方	86	97	79	61	100	101	25	-3	-22
四国地方	105	109	66	51	100	95	54	9	-29
九州北部	85	104	69	48	95	113	37	9	-44
九州南部・奄美地方	96	112	76	47	94	88	49	18	-12

平年比%

平年比50%以下

平年比51%~75%

平年比125%~149%

平年比150%以上

前年差%

-50%以下

-25%~-49%

+25%~+49%

+50%以上

### ③降水量

**11月(平年との比較)** 上旬は、北海道・東北地方で多く、中旬は全国的に平年を上回る降水量となった

**前年同月と比較して** 上・中旬は北海道、東北地方で前年より多く、九州・四国で少なかつた。下旬は全国的にやや多い降水量であった

	降水量 平年比(%)								
	2012年11月			2011年11月			前年との差(%)		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北海道地方	304	164	135	10	91	102	294	73	33
東北地方	225	154	60	46	101	69	179	53	-9
関東甲信地方	72	199	88	52	268	5	20	-69	83
北陸地方	147	188	72	76	113	102	71	75	-30
東海地方	40	225	146	43	308	5	-3	-83	141
近畿地方	34	270	131	48	268	15	-14	2	116
中国地方	59	209	102	85	169	22	-26	40	80
四国地方	22	195	79	71	298	13	-49	-103	66
九州北部	101	271	72	115	440	31	-14	-169	41
九州南部・奄美地方	102	163	85	175	280	48	-73	-117	37

平年比%

平年比50%以下

平年比51%~75%

平年比125%~149%

平年比150%以上

前年差%

-50%以下

-25%~-49%

+25%~+49%

+50%以上

気象庁ホームページより引用

平均値は過去30年(1981年~2010年)による

スーパーマーケット統計事務局作成

# スーパーマーケット景気動向調査

## 12月調査結果(11月実績)

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因について補足する役割を果たすことも期待しています。

### 【経営動向調査】

#### 調査項目①

スーパーマーケット中核店舗における「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」について、前年同月及び前月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で調査

経営動向調査 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

#### 調査項目②

「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」の各カテゴリーについて、当月における好調カテゴリーと不調カテゴリーとその要因を調査

### 【景況感調査】

#### 調査項目

「景気状況」、「消費者購買意欲」、「周辺の競合状況」、「周辺地域の景気」について、2~3か月前と比較した現状及び今後2~3か月の見通しを「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査

景況感 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0.0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

2012年12月21日

日本スーパーマーケット協会  
オール日本スーパーマーケット協会  
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ  
[tokei@super.or.jp](mailto:tokei@super.or.jp)

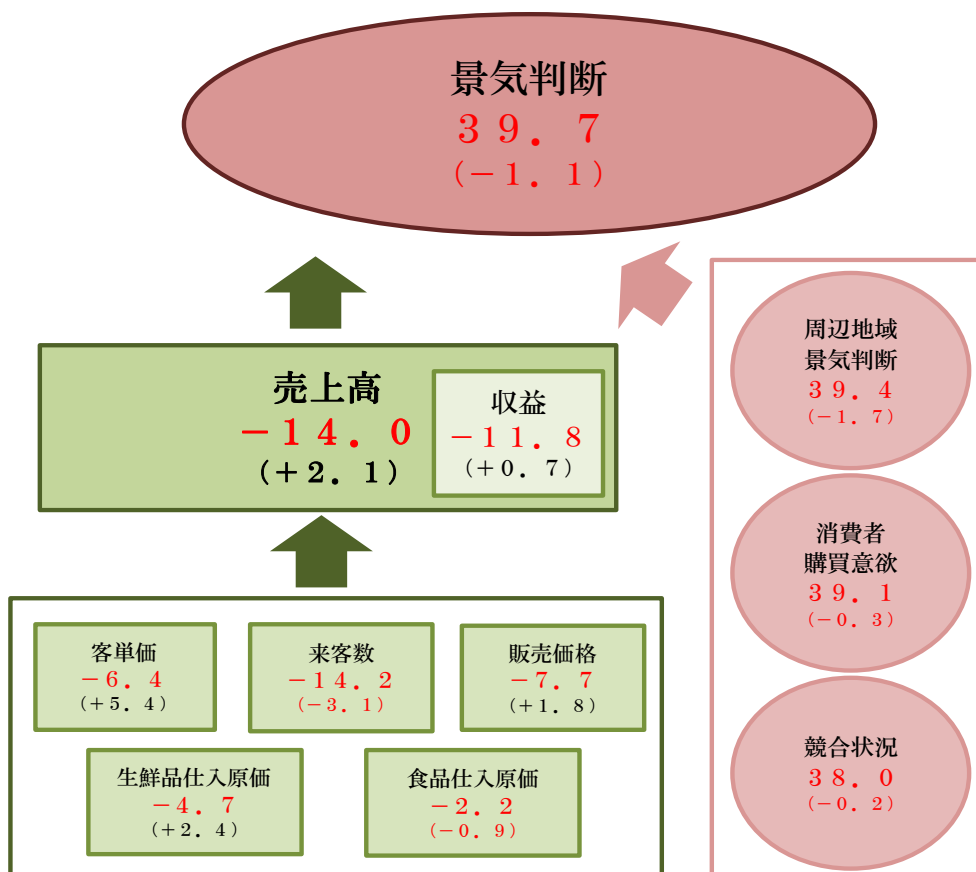
# I. 調査結果概況

11月スーパーマーケット中核店舗における景気判断は、2011年4月調査開始後、初めて40を割り込み39.7となった。売上高DIは-14.0、収益DIは-11.8と小幅に上昇したものの依然として厳しい水準で推移している。客単価DIが-6.4とやや持ち直したものの、来客数DIは-14.2とこれまでの最低水準まで落ち込みをみせている。生鮮品仕入DIは-4.7と下げ止まりを見せた。

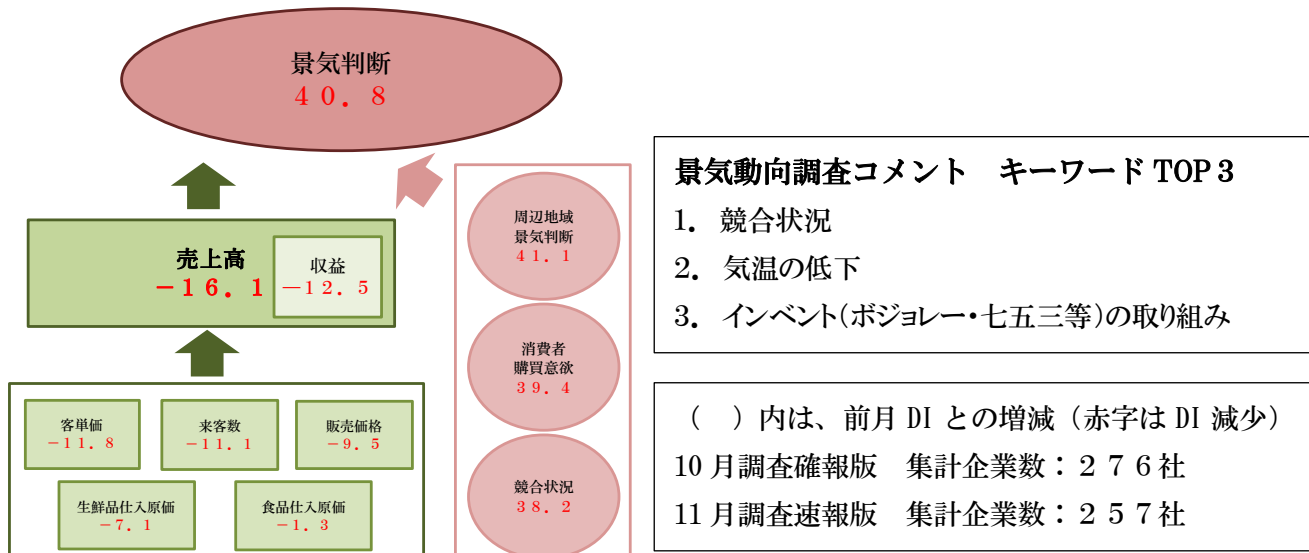
景況感現状判断DIは横ばい、もしくは低下をみせており非常に厳しい判断となった。先行き判断DIも一段と厳しい判断が続いている。

新政権の経済対策と金融緩和への期待から株価が大きく上昇しているが、年末商戦に向けて消費に対してもプラスの影響が波及するかどうかが次月の調査結果で見極めたい。

## 11月中核店舗における景気動向（速報版）



## 10月中核店舗における景気動向（確報版）



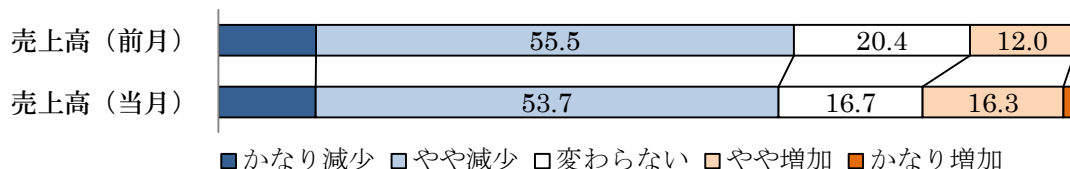
## II. 調査結果詳細

### 1. 経営動向調査（前年同月との比較）

#### ①売上高 DI

「変わらない」が減少し「やや増加」が増加したため DI は小幅に上昇

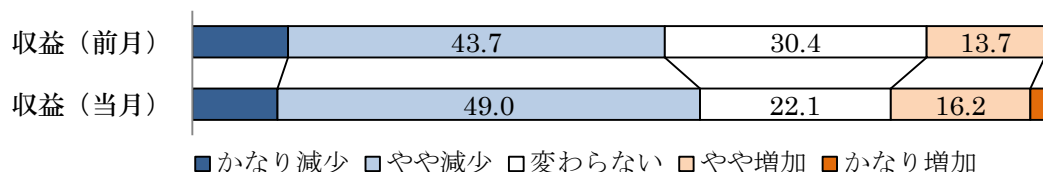
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	11.3	55.5	20.4	12.0	0.7	-16.1
売上高 (当月)	11.3	53.7	16.7	16.3	1.9	-14.0



#### ②収益 DI

「変わらない」が減少し「やや増加」「やや減少」が増加しやや二極化、DI は小幅に上昇

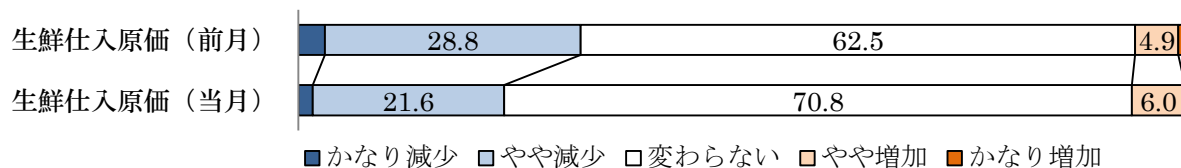
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	11.1	43.7	30.4	13.7	1.1	-12.5
収益 (当月)	9.9	49.0	22.1	16.2	2.8	-11.8



#### ③生鮮仕入原価 DI

「やや減少」が減少し、「変わらない」が増加し、DI は上昇

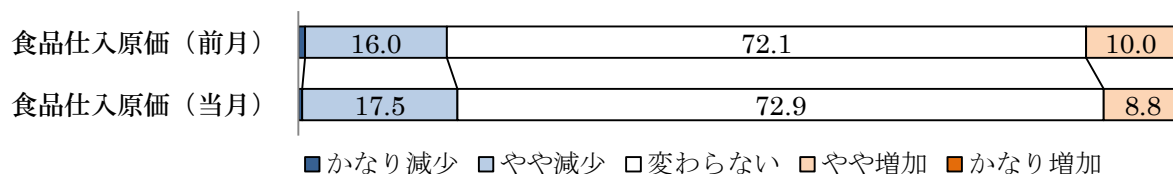
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	3.0	28.8	62.5	4.9	0.7	-7.1
生鮮仕入原価 (当月)	1.6	21.6	70.8	6.0	0.0	-4.7



#### ④食品仕入原価 DI

回答構成比に大きな変化なく、DI は横ばい

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	0.7	16.0	72.1	10.0	1.1	-1.3
食品仕入原価 (当月)	0.4	17.5	72.9	8.8	0.4	-2.2

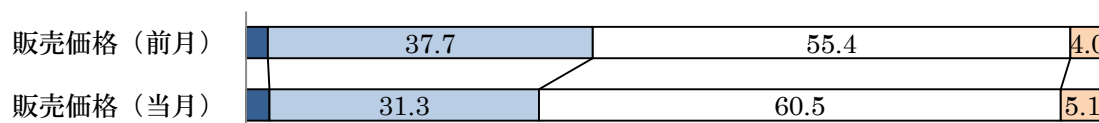




### ⑤販売価格 DI

「やや減少」が減少し「変わらない」が増加したため DI は小幅に上昇

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	2.5	37.7	55.4	4.0	0.4	-9.5
販売価格 (当月)	2.7	31.3	60.5	5.1	0.4	-7.7

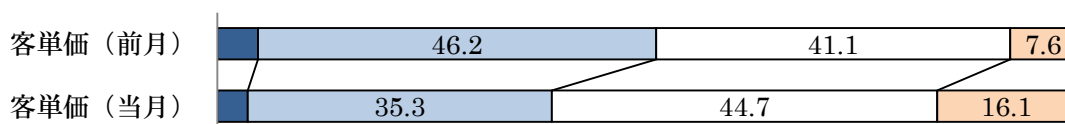


■かなり減少 □やや減少 □変わらない □やや増加 ■かなり増加

### ⑥客単価 DI

「やや減少」が減少し「やや上昇」が増加したため DI は上昇

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	4.7	46.2	41.1	7.6	0.4	-11.8
客単価 (当月)	3.5	35.3	44.7	16.1	0.4	-6.4

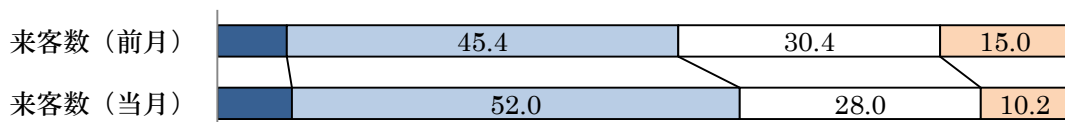


■かなり減少 □やや減少 □変わらない □やや増加 ■かなり増加

### ⑦来客数 DI

「やや増加」が減少し「やや減少」が増加したため DI は下降

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	8.1	45.4	30.4	15.0	1.1	-11.1
来客数 (当月)	8.7	52.0	28.0	10.2	1.2	-14.2



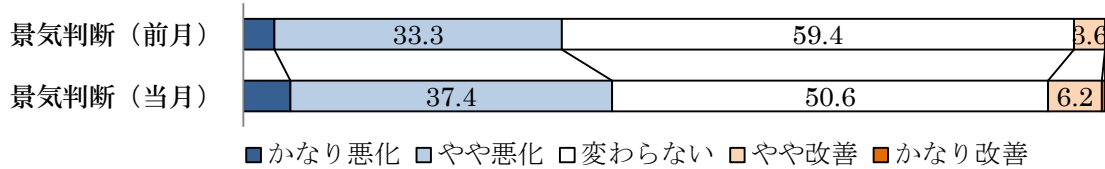
■かなり減少 □やや減少 □変わらない □やや増加 ■かなり増加

## 2. 景況感調査（現状判断：2～3カ月前との比較）

### ①景気判断 DI

「変わらない」が減少し、「やや悪化」「やや改善」が小幅に増加したがDIは小幅に減少

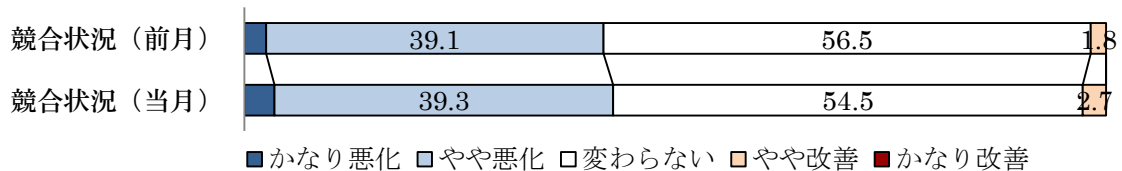
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
景気判断（前月）	3.6	33.3	59.4	3.6	0.0	40.8
景気判断（当月）	5.4	37.4	50.6	6.2	0.4	39.7



### ②周辺競合状況 DI

回答構成比に大きな変化なく、DIも横ばい

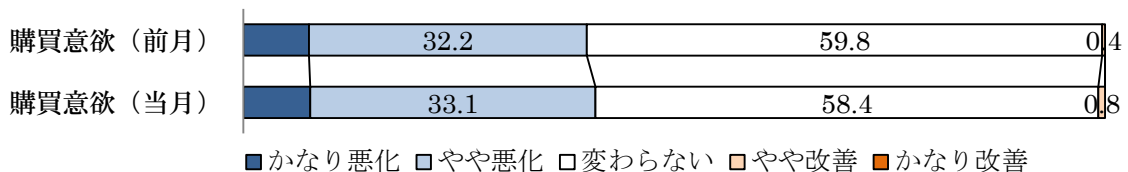
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
競合状況（前月）	2.5	39.1	56.5	1.8	0.0	39.4
競合状況（当月）	3.5	39.3	54.5	2.7	0.0	39.1



### ③消費者購買意欲 DI

回答構成比に大きな変化なく、DIも横ばい

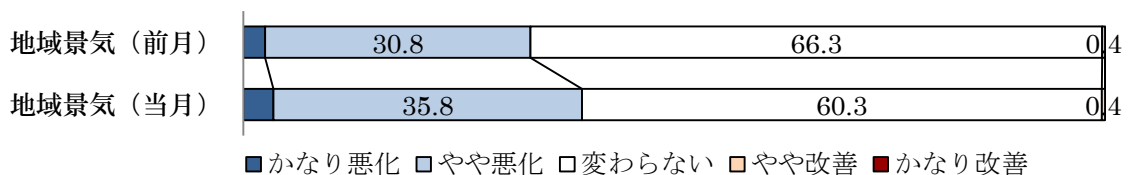
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
購買意欲（前月）	7.6	32.2	59.8	0.4	0.0	38.2
購買意欲（当月）	7.8	33.1	58.4	0.8	0.0	38.0



### ④周辺地域景気状況 DI

「変わらない」が減少し、「やや悪化」が増加した、DIは減少

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
地域景気（前月）	2.5	30.8	66.3	0.4	0.0	41.1
地域景気（当月）	3.5	35.8	60.3	0.4	0.0	39.4

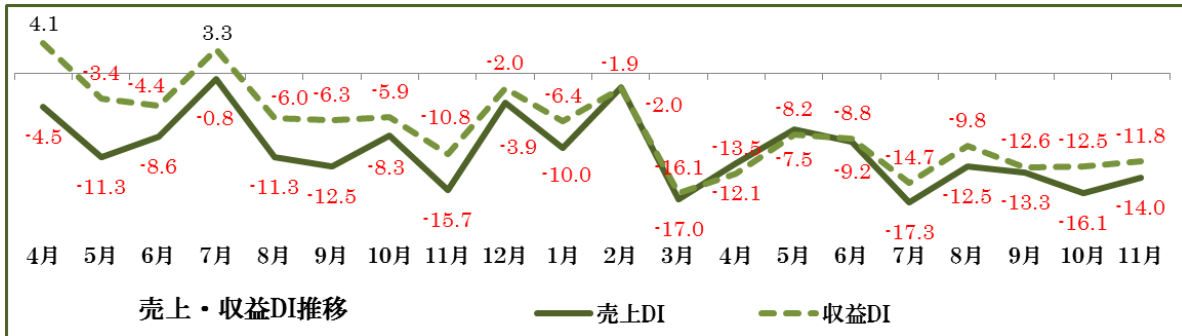


## II. 調査結果推移 (2011年4月～)

### 1. スーパーマーケット経営動向調査

#### ①売上高DI・収益DI

「売上高DI」やや持ち直し 「収益DI」横ばい



#### ②客単価DI・来客数DI

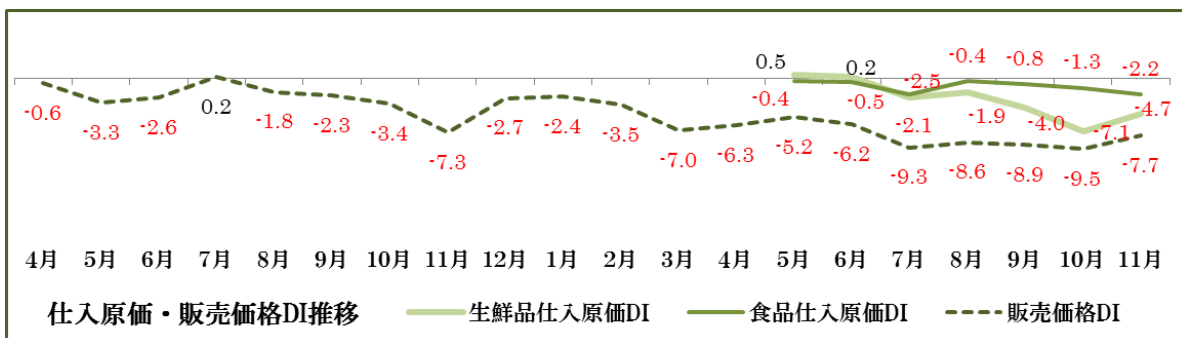
「客単価DI」上昇 「来客数DI」下降



#### ③生鮮品仕入原価DI・食品仕入原価DI・販売価格DI

「生鮮品仕入原価DI」上昇 「食品仕入原価DI」小幅に下降

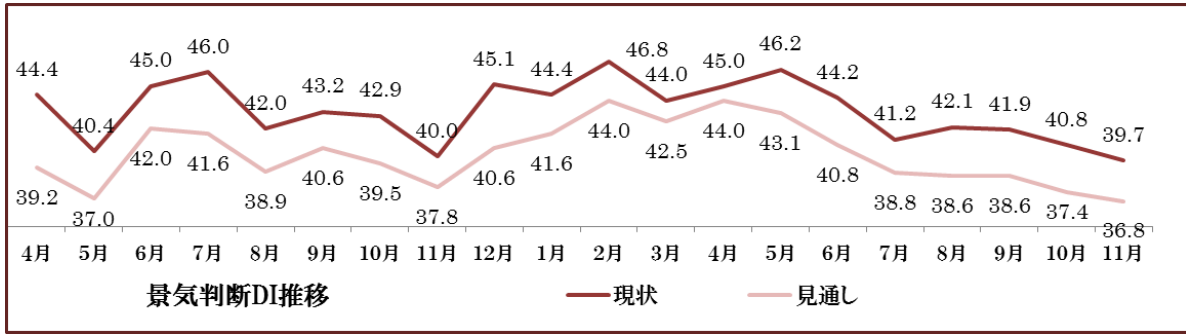
「販売価格DI」上昇



## 2. スーパーマーケット景況感調査

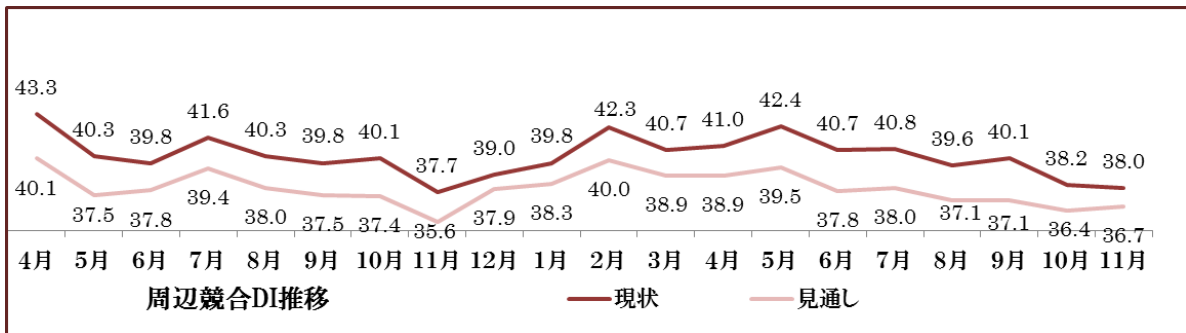
### ①景気状況 DI（現状判断・見通し）

現状判断は5月、見通し判断は4月から下降傾向続く



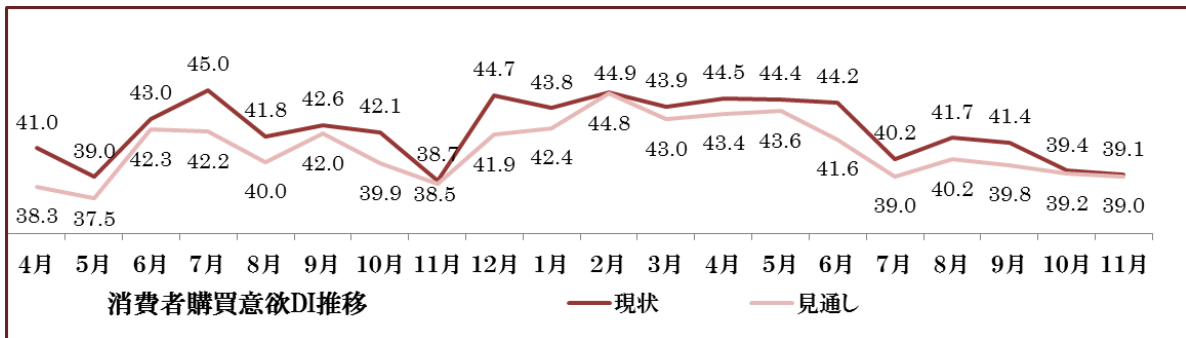
### ②周辺競合状況 DI（現状判断・見通し）

現状、見通し判断ともに低水準での横ばい傾向が続く



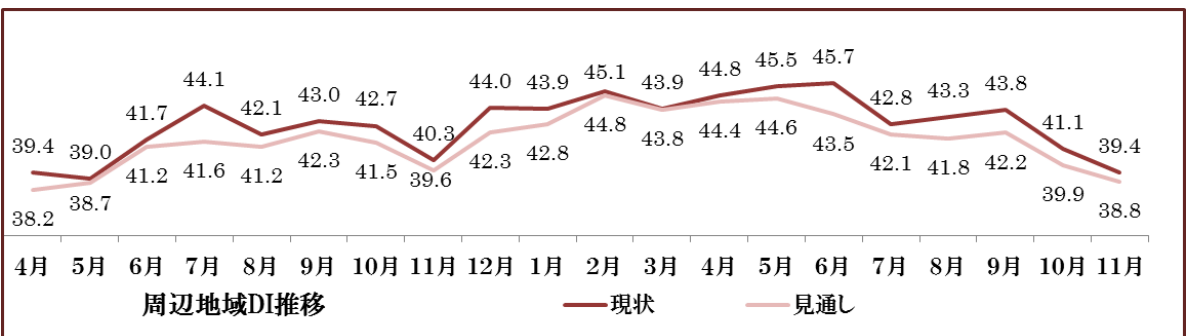
### ③消費者購買意欲 DI（現状判断・見通し）

現状判断は7月、見通し判断は6月から弱含みとなっている



### ④周辺地域 DI（現状判断・見通し）

9月にやや持ち直しも、10月、11月と2ヵ月連続で下降

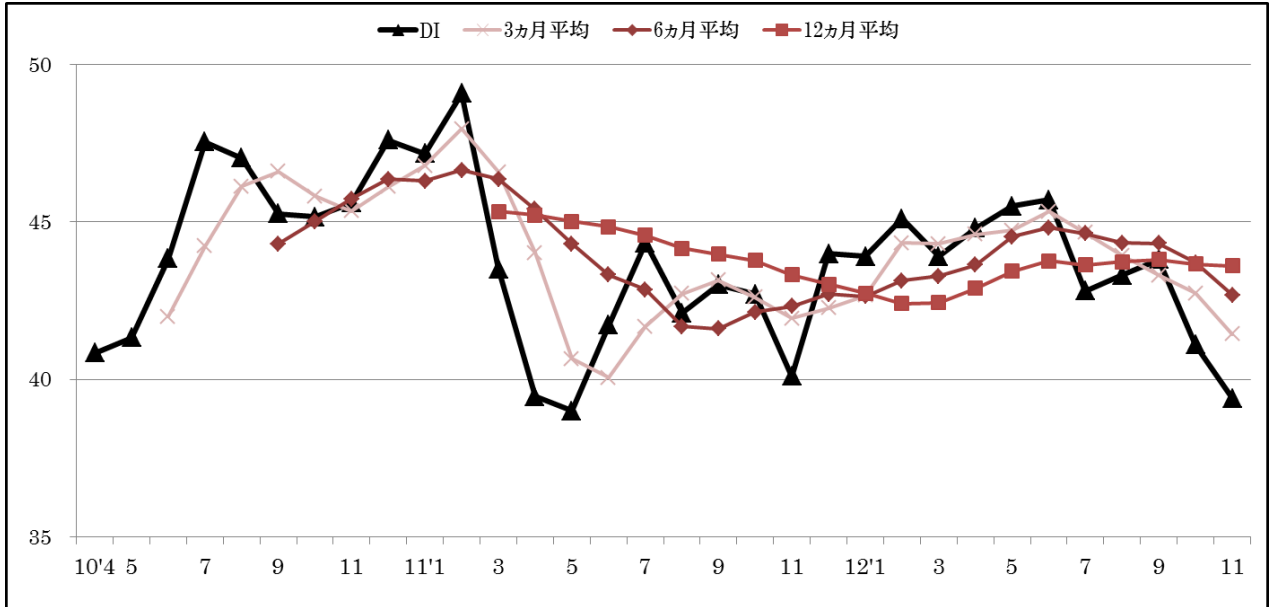


### III. 調査関連資料

#### 1. 移動平均（周辺地域景気 DI 現状判断・見通し）

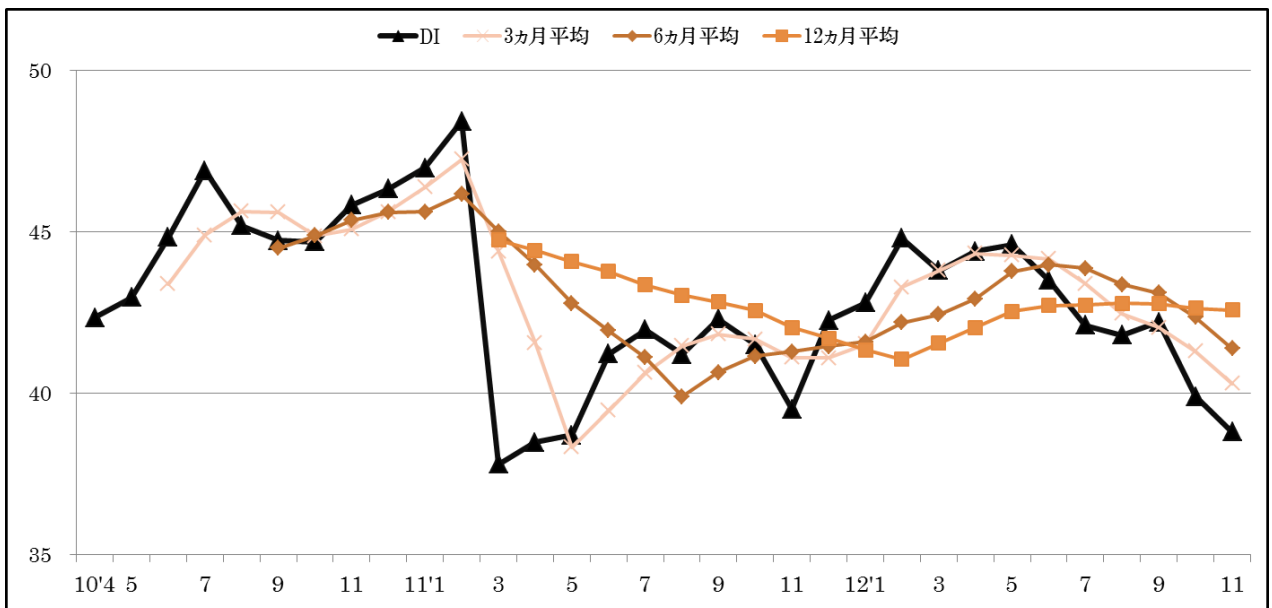
##### ①現状判断（中長期傾向）

6月をピークに単月DIが下降傾向となり、10月は長期傾向を示す12カ月平均線もついに下向きに変化し、下降トレンド入りが示唆された。11月単月DIはさらに下降し、下降トレンドが継続していると考えられる。



##### ②見通し判断（中長期傾向）

9月にすべての移動平均線が下向き化し、下降トレンド入りしている。11月も引き続き単月DIが下降している。回復基調を確認するためには、単月DIが12カ月平均線を上回って推移するのを待たなければならない。

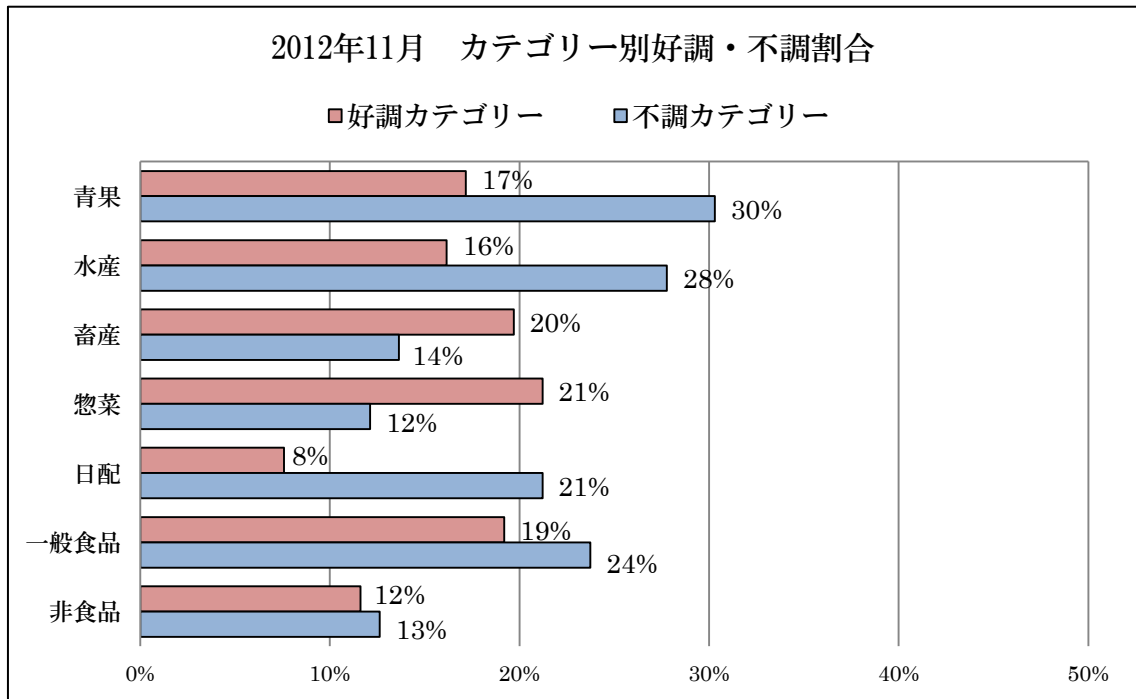


## 2. カテゴリー別動向

### ①好調カテゴリー・不調カテゴリー

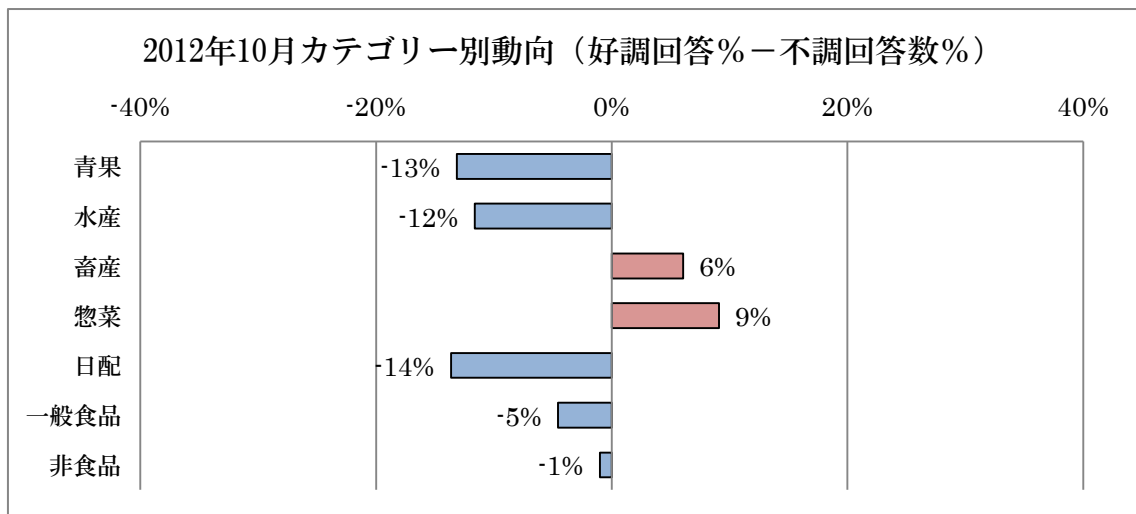
好調の回答割合上位のカテゴリー：①「惣菜」②「畜産」③「一般食品」

不調の回答割合上位のカテゴリー：①「青果」②「水産」③「一般食品」



好調回答%－不調回答%が多い：①「惣菜」②「畜産」

好調回答%－不調回答%が少ない：①「日配」②「青果」



※N=198 複数回答あり

### ②カテゴリー別主な好不調コメント

	好調コメント	不調コメント
青果	果物（リンゴ、ミカン）	野菜相場安
水産	各種取り組み	出荷量の減少、相場の影響
畜産	鍋需要増	
惣菜	簡便性需要、取り組み強化	寿司類の不振
日配	冷凍食品の販促強化	牛乳、アイス、競合との価格競争
一般食品	鍋関連商品、酒	菓子、競合による価格競争
非食品	冷え込みによる冬物商品	ドラッグストアとの競合